

5年ぶりのV
第44回玉名駅伝大会

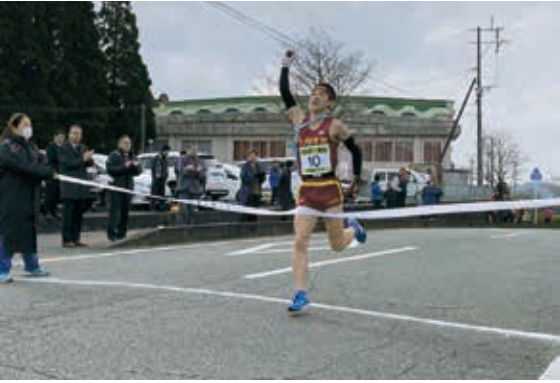
1月19日、第44回玉名駅伝大会が開催されました。玉名郡市から計10チームが参加し、和水町体育館駐車場をスタート・フィニッシュとする全長41.5km（10区間）の道のりを競い合いました。

当日は、天候にも恵まれ、中学生、高校生、一般のランナーたちが、自分が受け取ったタスキをゴールまでつなぐと一生懸命走っている姿に、沿道からたくさんの声援が送られていました。

和水町は、レース序盤から上位を維持し、5区で一気に1位に躍り出ると、6区以降の選手らが力走し、2位の玉名市に約1分差をつけてフィニッシュしました。

（和水町選手団）

監督	坂井 賢士
マネージャー	有働 駿
1区	松村 大輝
2区	坂本 華
3区	坂井 俊介
4区	北原 理一朗
5区	池田 達哉（前田賞・最優秀選手賞）
6区	坂井 陽香（区間賞）
7区	庄山 秀一
8区	内野 誠治（区間賞）
9区	前淵 咲太朗
10区	池田 海翔



1位でフィニッシュする池田海翔選手



和水町選手団

箱根町との交流活動
金栗四三さん生誕の地 和水町をPR

1月2日、3日に金栗四三さんが創設に関わった駅伝競技の最高峰である箱根駅伝で、「金栗四三さん生誕の地、和水町」のPR活動を行ってきました。

昨年8月20日に金栗四三生家で締結した箱根町との包括連携協定に基づく交流活動の一環として箱根町を訪問し、往路のゴール地である箱根町芦ノ湖にPRブースを設置。

実際に箱根駅伝を体感してみて、テレビから伝わる以上の熱気を感じ取ることができ、学生ランナーにとっては夢の場所であり、金栗四三さんが「世界に通用するランナーを育成したい」との思いは十分果たせている大会だと実感しました。



PRブース 芦ノ湖

勇猛果敢
令和2年消防出初式

1月12日、菊池川白石堰河川広場で消防出初式を開催しました。

小木雅司団長率いる消防団員が、分列行進、通常点検、玉落とし放水競技などを行いました。また、春富保育園・あおば保育園の幼年消防隊による演技などがあり、式典では、年間優秀分団などの表彰が行われました。

表彰については、右のとおりです。

■年間優秀分団
最優秀分団…第1分団
2位…第4分団
3位…第2分団
■通常点検の部
1位…第1分団
2位…第2分団
3位…第3分団
■玉落とし放水競技の部
1位…第3分団
2位…第5分団
3位…第6分団

■熊本県知事 永年勤続功労章 6人
第2分団 副分団長 松石 淳
第1分団 団員 満永 昌弥
第3分団 団員 赤星 成一
第3分団 団員 有働 幸一
第6分団 団員 松村 秀徳
団員 本田 茂



一斉放水

■年末警戒巡視報告
1位 第2分団第1部 （用木・萩原）
2位 第3分団第1部 （岩尻・久米野・志口永）
3位 第2分団第2部 （日平・蛸浦）
■感謝状 （防火水槽設置土地提供者） 土地提供者 長小田区自治会



幼年消防隊

菊水小学校校歌歌詞募集
最優秀賞を進呈

1月22日、教育長室で、菊水小学校校歌の歌詞に採用された松尾一俊さん（上板楠）に、最優秀賞が進呈されました。

松尾さんは、応募にあたり、「菊水の四季折々の山々、清流菊池川、いにしえの里をそれぞれ1番・2番・3番の歌詞にしました。菊水小学校の児童が豊かな自然と歴史ある『ふるさと菊水』に誇りをもち、大きな夢に向かって飛躍していくイメージで作詞しました」と歌詞に込めた思いを述べました。



松尾一俊さん（左）と岡本教育長（右）